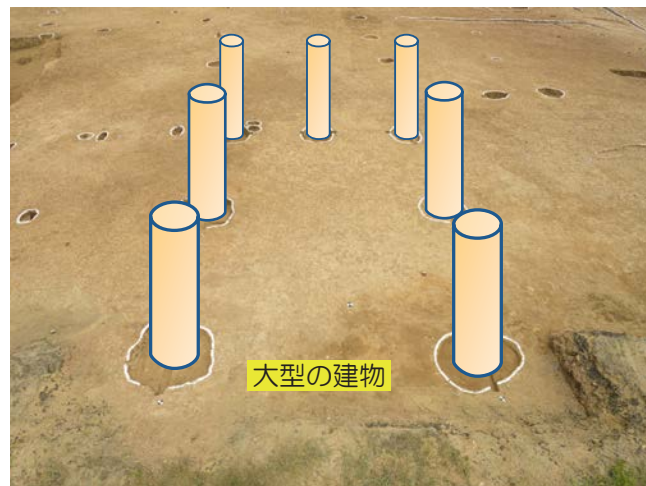
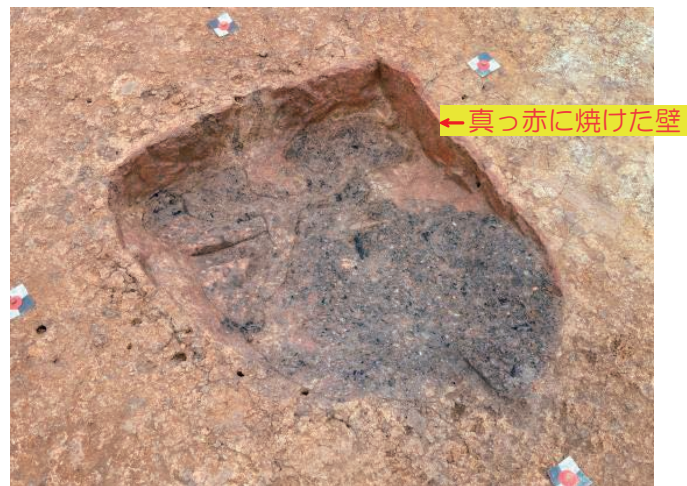




谷西側の掘立柱建物



谷西側の焼成土坑



谷の出土品



赤く塗られた縄文土器



縄文時代の交流を示す石製品

輪島市 宅田上野山遺跡 現地説明会資料

令和 4(2022) 年 9 月 17 日 (土)
(公財) 石川県埋蔵文化財センター

- ◎ 調査地 輪島市宅田町地内
- ◎ 委託者 石川県奥能登土木総合事務所 (石川県土木部道路建設課)
- ◎ 調査原因 一般国道249号 輪島バイパス整備事業
- ◎ 調査主体 石川県教育委員会 (調査担当: 公益財団法人石川県埋蔵文化財センター)
- ◎ 調査期間 令和4年5月16日～令和4年9月30日 (予定)
- ◎ 調査面積 約2,800㎡



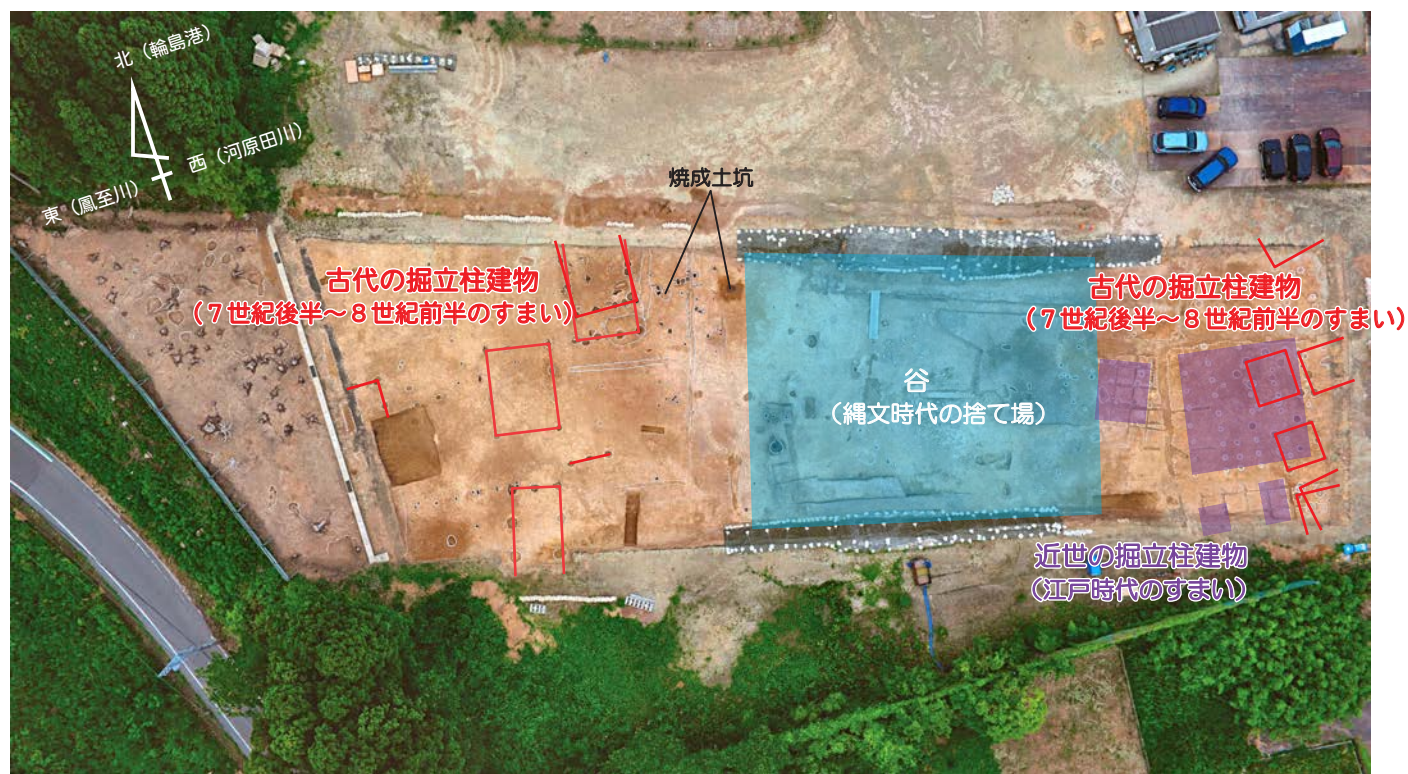
宅田上野山遺跡と輪島市街地 (南西から)

- ◎ 調査の概要
遺跡は、河原田川と鳳至川とに挟まれた通称“上ノ山”と呼ばれる台地の上にあります。これまでに輪島市教育委員会によって発掘調査が行われ、旧石器時代～室町時代の散布地と集落が確認されています。今回の調査は遺跡の中央西側部分にあたります。
調査の結果、調査区中央に深さ最大3mの谷があり、その東と西側の高台に掘立柱建物を中心とする古代 (7世紀後半～8世紀前半) や江戸時代以降の集落を見つけました。
また、調査区中央の谷からは中層で7世紀代の土師器や須恵器、下層で縄文時代前期終わり (約5,700年前) から晩期中ごろ (約3,000年前) の土器や石器などが大量にみつかりました。遺跡は以前から近隣の畑などで縄文時代の遺物が多く採集されることが知られていましたが、谷からの大量の遺物はそれを裏付ける調査となったと言えます。



宅田上野山遺跡と周辺の主な遺跡

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 稲舟古窯跡（市史跡：古墳時代） | 2 塚田遺跡（縄文時代） |
| 3 杉平円山古墳群（古墳時代） | 4 山岸遺跡（中世、近世） |
| 5 河井町遺跡（古代） | 6 釜屋谷B遺跡（古代、中世） |
| 7 四ツ塚古墳群（市史跡：古墳時代） | 8 釜屋谷昭南遺跡（古墳時代、古代、中世） |
| 9 中段B遺跡（古代、中世） | 10 中段の板碑（県史跡：鎌倉時代） |



宅田上野山遺跡 令和4年度調査区 空中写真

宅田上野山遺跡 遺構配置図

